

RIKKENMINSHU

号外

立憲民主党
参議院比例第5総支部版

2026.8.15

立憲民主党
立憲民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区

永田町 1-11-1

三宅坂ビル7F

Tel.03-3595-9988

Fax.03-3595-9088

CP
The Constitutional
Democratic
Party of Japan

立憲民主
RIKKEN MINSHU

みずおか俊一

On-Line 40



1月23日 新体制の立憲民主党をお披露目



3月11日 HOPE FOR project主催の「風船リリース」



7月15日 2回目の党首討論



6月24日 国会前庭で党の動画撮影

若者の声が届く政治をめざして

立憲民主党は7月2日、議員立法「被選挙権年齢引き下げ法案(公職選挙法及び地方自治法の一部を改正する法律案)」を参議院に提出しました。この法案は、被選挙権年齢を衆院議員・地方議員の場合25歳から18歳へ、参院議員・首長は30歳から23歳へ引き下げるものです。過去にも3度立憲民主党としてこの法案を提出しましたが、参議院への提出は今回が初めてです。一般社団法人日本若者協議会から党への提言を受けたことを機に、今回の提出が進みました。10年前、選挙権年齢は18歳に引き下げられましたが、25、30歳未満は立候補する権利さえ与えられておらず、若年層の立候補は制限されたままです。今年3月時点では20代の国会議員はわずか6名で、全体の0.8%に留まっています。

民主主義には、法律や政治によって継続的に影響を受ける者は、その決定に参加する資格があるという「All-affected principle(影響原理)」と呼ばれる考え方があります。気候変動・財政・社会保障・教育・外交・安全保障のように、何十年にもわたって影響を及ぼす問題においては、若い世代ほどその結果を長く引き受けます。被選挙権年齢を引き下げることによって、就職、出産、育児等の当事者である若手世代の立候補が可能になり、当事者の声を政策に反映させる足がかりとなります。

現在、日本若者協議会のような若者の団体に対する政府による財政的支援制度は存在しません。一方、スウェーデンにおいては、子ども若者団体に特化した財政資金として、年間約45億円相当が拠出されています。

この公的支援により、学生組合やスポーツ文化団体等の若者団体がフルタイムの専従スタッフを雇用することが可能となり、民主的かつ安定した組織運営が実現しています。日本においても、当事者である若者によって構成・運営される団体に限定した助成金制度を新たに創設し、若者の自律的な社会参画を支える基盤を整備すべきだと考えます。

被選挙権引き下げの議論では、誰を当選させるかは有権者が判断するもので、年齢だけで候補者を予め排除する必要はないのだという視点が大切ではないでしょうか。日本の民主主義のレベルを高める鍵の一つでもあります。

参議院議員
水岡俊一

党の環境が激変した半年

1月、年明け早々の衆議院解散から、「中道改革連合」結成、衆議院議員と総支部長の離党、そして私の立憲民主党代表就任まで、わずかな間に党をめぐる状況は大きく変わりました。ここまでの経緯をご説明します。



3月29日 立憲民主党2026年度党大会

電撃的な解散と新党結成

すべての始まりは昨年にさかのぼります。公明党が26年間続いた自民党との連立を解消し、中道路線の結集を模索し始めました。立憲民主党と公明党の政策には近い部分が多く、野田佳彦代表と斉藤鉄夫代表（ともに当時）が水面下で協議を重ねていたようですが、当初は本格的な合流までまだ時間があると思われていました。

ところが年明け、高市総理が通常国会冒頭での衆議院解散に動く気配が強まり、状況は一変します。1月12日、

野田・斉藤両氏が急遽会談し、時間をかけた選挙区調整よりも「思い切った同じ党になる」道を選択。16日、両党の衆議院議員が離党したうえで新党「中道改革連合」の結成を届け出るという電撃的な展開となりました。私がこの一報を聞いたのは、その2日前、参議院副議長としての海外派遣の最中でした。19日には綱領と基本政策が発表され、20日までに立憲の衆議院議員と衆議院総支部長の多くが立憲民主党を離党し、新党へと移籍。これにより、この衆院選で立憲民主党からは候補者を立てないこととなりました。

「中道」衆院選での大敗

立憲民主党の代表や、多くの役員は衆議院議員でした。40人近い参議院議員と全国の地方議員・党員・協力党員・パートナーズを抱える党に、代表も役員もいないという事態は避けねばなりません。解散当日の1月23日、両院議員総会にて、代表代行を務めていた私が、党規約に基づき新代表に選出され、新たな執行部も決まりました。突然の重責に、身の引き締まる思いでいっぱいでした。

1月27日公示、2月8日投開票の第

51回衆議院議員総選挙は、自民党が316議席を得る歴史的勝利、私たちの支援した中道改革連合は野党第一党としてかつてないほどの厳しい結果に終わりました。まさに焼け野原のような状態で、つい先日まで同じ党で活動していたなかまたちの多くが、国会に立てなくなったことに、愕然たる思いでした。

一からの立て直し

それから半年、党の立て直しに全力を注ぎつつ、中道改革連合、公明党とも連携しながら、参議院のなかまたちでみなさんの声を国会に届け続けまし



6月23日
沖縄全戦没者
追悼式に出席



3月11日
石巻市の震災遺構
「大川小学校」を視察



3月29日 立憲民主党2026年度党大会

た。草の根の政治の実現、ボトムアップの党運営という原点に立ち返って、一から出直す覚悟で前へと進んできたのです。

党の立て直しには、未来の姿を丁寧に議論していくことが欠かせません。7月2日には、立憲民主党、中道改革連合、公明党による3党組織課題協議会が正式にスタートしました。政策、組織、選挙に関わる課題を中心に、週1回のペースで議論を重ねています。私たちは、政策について十分な議論が必要だという声を数多くいただいています。合流ありきではなく、政策の相違をきちんと整理したうえで、党内でしっかりと判断をいたします。みなさまに支えられてきたこの党が、これからも現場に根差した政治を実現するため、今後も力を尽くしてまいります。

衆院選後の国会論戦

衆院選後に招集された特別国会は150日間の日程に小幅の延長がおこなわれました。衆院では、圧倒的な数を占める与党ですが、参院では少数与党のままです。参議院の真価が問われる国会となりました。

環境委員会での質問

太陽光パネルは、2030年代後半に年間50万トンもの廃棄が見込まれています。5月28日の参議院環境委員会で、太陽光パネルリサイクル法の改正について質問しました。リサイクルより埋め立てが安価という発想をこのまま続けていけば、最終処分場を圧迫し、廃棄物処理全体を麻痺させかねません。だからこそ、リサイクルを着実に進める制度を今のうちに整えておくべきだと大臣に迫るとともに、撤去後の土地が放置され、土



5月28日 環境委員会での質問

砂崩れなどの災害リスクを地域に残さないよう、原状回復の責任を事業者に課すべきだと指摘しました。

初の党首討論に立つ

今国会では立憲民主党の代表として、2回の党首討論にも立ちました。5月20日は、外交をテーマに米中首脳会談を受けての「ジャパン・パッシング」への懸念を総理にぶつけました。米国と中国が日本の頭越しに重要な取引を進める可能性は、外交の歴史が繰り返す警告してきたことです。同盟国だからこそ、日本の国益が置き去りにされないよう働きかけるべきだと述べました。また、ロシアによるウクライナ侵略は国際法違反だと明確に批判する一方で、米国やイスラエルによるイラン攻撃には法的評価を差し控える総理の姿勢についても問いました。同盟国にも、隣国にも、対立する国にも、同じ基準で国際法遵守を求めるべきだと訴えました。

7月15日は、皇室典範改正案について総理と討論しました。政府はこの法案を「立法府の総意」に基づくも



5月20日 党首討論で外交について議論

のと説明していますが、「養子の子に皇位継承資格を与える」という点は全体会議では話に出ず、だまし討ちのようなものです。全会一致ではないものを総意と呼ぶことの妥当性をただしました。また、皇族数の確保が目的だったはずの議論が、いつの間にか新たな皇位継承資格者を生む制度にすり替わっている矛盾を指摘しました。日本国憲法は女性天皇や女系天皇を禁じていません。皇位継承を男系男子に限っているのは皇室典範であり、時代に応じた改正が可能です。国民の総意を形成することから遠ざかるのではなく、憲法に立ち返った議論を行うよう総理に強く求めました。

皇室典範改正案については、立憲民主党として修正案を提出しましたが、残念ながら否決されました。将来世代に負担や矛盾を先送りしない政治を、これからも求めてまいります。

立憲民主党の新しいポスターを発表!

6月29日、新たな政治活動用ポスターを発表しました。キャッチコピーの「生活どまんなか」は、家計、子育て、働く環境、医療・介護など、一人ひとりの生活を政治の中心に据える党の姿勢を表しています。今回のキャッチコピーは、国会議員や自治体議員から広く募集し、選定されました。発表と同時に、全国の議員が現場を歩き、声を集める全国キャンペーンもスタートしています。新しいポスターを街でぜひ探してみてください!





衆院選2026/

総選挙の応援で全国へ！
その一部をご紹介します。



みずおか俊一 活動PHOTO

通常国会冒頭での突然の解散により、
2月に衆議院議員総選挙がおこなわれました。
野党に猛烈な逆風が吹き、与党が大躍進しました。
また、野党再建のため地道に活動を続けます。



↑3月23日、
彦根城の世界遺産登録を
めざす議員連盟発足総会



↑4月7日、NHK『ニュース
ウォッチ9』に出演

↓4月24日、品川区の
建設現場を視察



↑3月3日、連合本部へ表敬訪問



↑4月20日、村山富市元総理
お別れの会に出席

→1月2日、
豊岡事務所前で
新年のご挨拶



↓3月19日、「日米首脳会談に
向けた提言」を官房長官へ手交



↑6月2日、日本若者協議会の
日本版ユース・パラメントに参加

→6月13日、
70歳の誕生日を
事務所で祝い



この一冊



**仮放免の
子どもたち**
「日本人ファースト」の標的
池尾伸一
講談社、2026年

日本に「名前のない子どもたち」がいる？

ある作品展で、子どもたちの絵に名前が付けられていない理由は「超過滞在の親のもとに生まれ育ったため、在留資格が与えられていない」ので「名前を出すことは危険」なのだという。

日本では在留資格がないと、働く・健康に生きる・将来に希望を抱く・家族と一緒に暮らす・学ぶなど、当たり前の権利が国によって奪われる。中に

は、2025年の「不法滞在者ゼロプラン」によって、突然日常を奪われ、容赦なく母国へ強制送還される子どもがいる。社会の矛盾や国の政策のゆがみのしわ寄せは最も弱い部分（それが子どもたちだ）にいく。

ある子は、国に帰れと言われ、見ず知らずの大人に暴力まで受けてPTSDを発症し、外に出られなくなった。ある子は大学推薦も決まり体育の先生を夢見ていたのに、母国への飛行機に乗る時に手錠をかけられ「日本という国が本当に嫌いになりました」。スマホで撮影され、嘘の情報をネット上で流された子どもたちもいる。

外国人に厳しい政策が「ウケる」?! 政治家によって堂々とヘイトスピーチがおこなわれ、日本の中に排外的な空気が一気に強まったと感じる。日本の難民認

定率は世界の中でも群を抜いて低い。日本で生まれ、日本語をしゃべり、友達も多くは日本人。けれど日本で生きることを許されない。この本には「ズームアップ」として様々な実態、データや歴史、政策などがまとめられている。エピソードとして子どもたちの現実を伝える一方で、私たちの国のあり方について事実を通して知らしめてくれる。最後に「それでも希望はある」との一文が。差別と排除の壁は人間が作り出しているからこそ、人間の手で変えられる。私が問われている。



小島智子 こじま・ともこ

参議院議員(三重県選挙区)。1961年生まれ。1985年から中学校教員、三重県教職員組合桑名支部長を経て、教頭として勤務したのち、三重県議会議員(4期)。2025年より現職(1期目)。

国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館305号室
TEL: 03-6550-0305
FAX: 03-6551-0305

みずおか俊一
公式LINE
ともだち募集中!



※豊岡事務所は閉所いたしました。
長さに渡り、大変お世話になりました。

未使用切手
ご送付に感謝!

昔の記念切手も
活用いたします
ご協力ください

立憲民主号外2026.8.15号

発行: 立憲民主党参議院比例第5総支部
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2
企画・編集: 水岡俊一事務所
デザイン: 藤澤拓也、渋谷裕子(株式会社ANAGUMA)
印刷: 大和出版印刷株式会社